

第707回番組審議会報告

2026年4月7日開催

■出席委員

曾我部真裕委員長、栗栖義臣副委員長、川瀬慈委員、小川明子委員、小島幸保委員、佐藤卓己委員長、田中謙吉委員、津村記久子委員

■毎日放送出席者

虫明社長、酒井常務、中野常務、高山取締役、磯澤取締役、奥田取締役、田淵総合編成局長、羽根報道情報局長、東野コンプライアンス局長、東郷広報部長、中西番組審議会事務局長

◆議題

1. 委員長・副委員長の選出

今年度の委員総数は前年通り8人。委員長に曾我部真裕委員、副委員長に栗栖義臣委員が選出された。

2. 報告事項

(1) テレビの4月改編の概要について、総合編成局長が報告した。

(2) 放送番組の種別の公表制度に基づき、2025年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を総合編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量及び4月以降の基本番組表についても報告した。

◆議事の概要

2- (1) テレビの4月改編について

改編率は昨年4月の9.7%に比べて昨秋は7.4%と小幅になり今回も10.0%と引き続き小幅の改編となっている。ゴールデン(19時~22時)では9.0%、プライム帯では17.0%。好調の「よんちゃんTV」などの帯番組は変更せず、月曜の夜にバラエティ番組「テレビ×ミセス」「プロフェッショナルランキング」、また日曜の昼に「アッコにおまかせ」に代わって新しい情報番組「上田晋也のサンデーQ」がスタートする。7月に大阪でバレーボールのネーションズリーグ、9月に名古屋を中心にアジア大会が開催されるためタイガース戦を含めてスポーツの生中継に力を入れて生に強いMBSを打ち出していく。4月からの自社制作率は25年度下期から0.2ポイント上がって27.2%になる。

2- (2) 「放送番組の種別」の報告について

2025年度の下期は総放送時間が6万300分。報道番組1万2,581分（総放送時間の20.9%）、教育8,073分（同13.4%）、教養1万5,928分（同26.4%）、娯楽1万9,799分（同32.8%）、通販3,289分（同5.5%）、その他546分（同0.9%）。上期と比べて教養、その他が増加し報道、教育、娯楽、通販が減少している。また、この半期のCM放送実績は1万516分で、総放送時間に対する割合は17.4%。

以上